

【小さな家】



所在地：西区

建築主：個人

設計者：アドヴァンスアーキテクト株式会社

施工者：アドヴァンスアーキテクト株式会社

《講評》

狭隘な道路に面する建て込んだ住宅地で、プライバシーを保ちながらまちなみにも配慮した住宅をいかに実現するか。その難題へのチャレンジがこの建築である。

外光の入る道路側に庭を設け、通常であれば視線を避けるため塀を築く。そのプロセスを再考し、塀を建築と一体化し、外壁を鋭角的に大胆に切り取る。その開口から庭木が街路側に顔を出す。何だろろうと思わせるユニークな佇まいが街に語りかけてくる。

妻壁に穿たれた象徴的な開口の格子扉や雨の汚れにも配慮した外壁の水切ディテール等、ミニマルで質の高い建築である。

「閉じながら開く」小住宅の、街への関わり方の一つの形ではあるが、まちなみにより親和するための新たな試みと進化に期待したい。

(濱田 徹 委員)